保存版

今治市・地震防災マップ

伯方地区・上浦地区
大三島地区・関前地区

●地震防災マップについて●

この防災マップは、南海トラフを震源域とする最大クラスの地震が発生した場合に想定される震度分布・建物被害危険度・液状化危険度を示したものです。市民の皆様は、災害が発生したときには、正しい判断のもと安全な場所に避難してください。

MEMO

●緊急時の連絡先

火災・救急 119　警察 110　海上保安 118

機関名	電話番号
行政機関	
今治市役所	0898-32-5200
朝倉支所	0898-56-2500
玉川支所	0898-55-2211
波方支所	0898-41-7111
大西支所	0898-53-3500
菊間支所	0898-54-3450
吉海支所	0897-84-2111
宮窪支所	0897-86-2500
伯方支所	0897-72-1500
上浦支所	0897-87-3000
大三島支所	0897-82-0500
関前支所	0897-88-2111

機関名	電話番号
消防	
今治市消防本部	0898-32-6666
警察	
今治警察署	0898-34-0110
伯方警察署	0897-72-0110
海上	
今治海上保安部	0898-32-4999

災害用伝言ダイヤル

「171」をダイヤルし、ガイダンスに従ってください

伝言の録音方法：171をダイヤル → 1を押す

伝言の再生方法：171をダイヤル → 2を押す

ガイダンスが流れます

被災地の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル

録音　再生

このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」（安否情報）の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間などで、伝言の登録・再生をすることができます。
毎月1日・15日、正月三が日、および防災週間・防災とボランティア週間において体験利用ができます。

地震・津波発生時の行動

地震発生！

1. **地震の揺れから身を守る**
   - ●落ち着いて、自分の身を守る。
   - ●火の始末、ガスの元栓を閉める。
   - ●ドアや窓を開けて、出口を確保する。
2. **津波警報を待たずに、ただちに避難する**
   - ●揺れがおさまったら、津波のおそれがある区域に居る人は、ただちに避難する。
   - ●「より遠く」ではなく「より高い場所」へ避難する。
   - ●くずれたブロック塀や散乱したガラスなどに注意。
   - ●できる範囲で、地域の要援護者の手助けを。
3. **津波情報を入手する**
   - ●安全な場所に移動してから、防災無線やラジオなどで情報を確認する。
   - ●間違った情報や、うわさ、デマなどに惑わされないように注意する。
4. **避難施設や自宅へ移動する**
   - ●津波警報が解除されたら、一時避難した場所から、避難施設などに移動し、家族と合流する。
   - ●避難生活では、集団生活のルールを守り、助け合いの心を持つ。

●震度と揺れの状況（震度階級表）

震度4
- ●ほとんどの人が驚く。
- ●電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- ●座りの悪い置物が、倒れることがある。

震度5弱
- ●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- ●棚にある食器類や本が落ちることがある。
- ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

震度5強
- ●物につかまらないと歩くことが難しい。
- ●棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。
- ●固定していない家具が倒れることがある。
- ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度6弱
- ●立っていることが困難になる。
- ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

震度6強
- ●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。
- ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

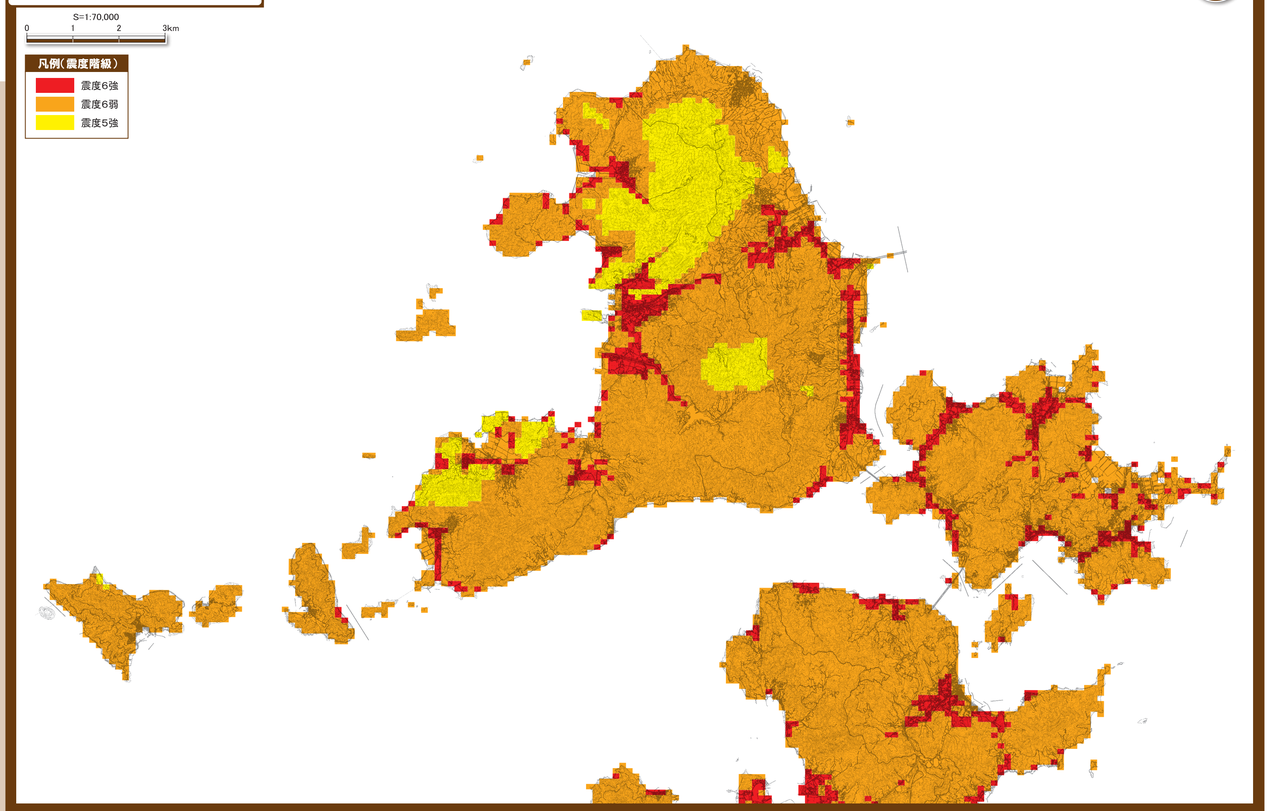
震度7
- ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。

震度分布

想定される地震の震度分布を色分けで表しています。

S=1:70,000　0　1　2　3km

凡例（震度階級）
- 震度6強
- 震度6弱
- 震度5強

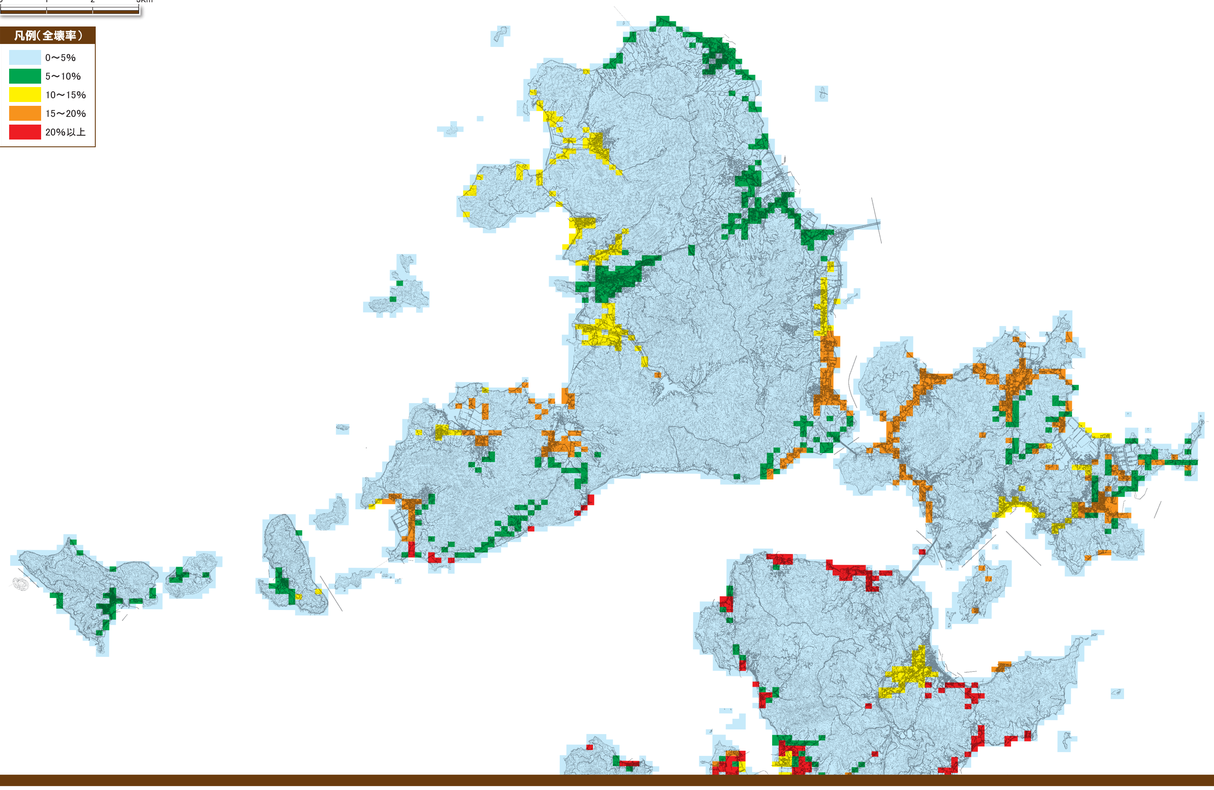


建物被害危険度

地震の揺れによって、建物被害（全壊）が生じる程度（%）を色分けで表しています。

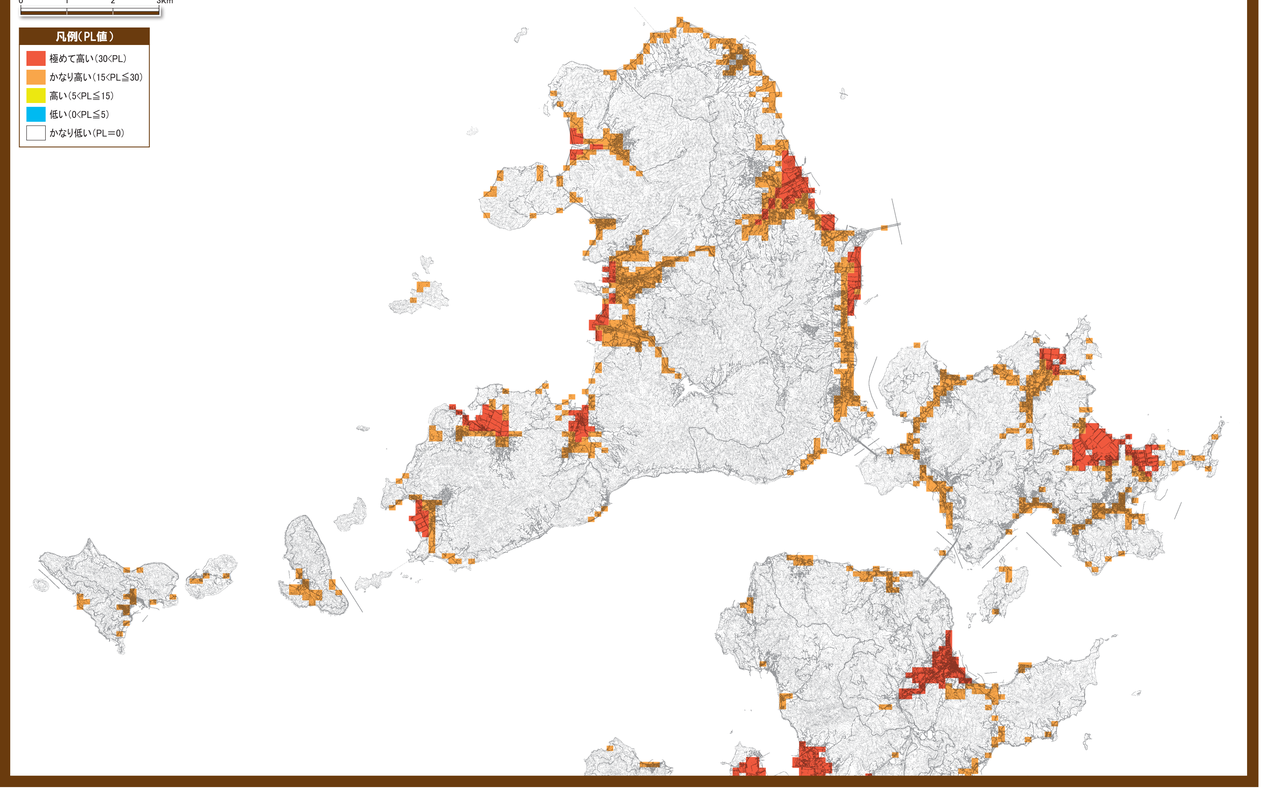
S=1:70,000　0　1　2　3km

凡例（全壊率）
- 0～5%
- 5～10%
- 10～15%
- 15～20%
- 20%以上



液状化危険度

地震による液状化の生じやすさを色分けで表しています。

S=1:70,000　0　1　2　3km

凡例（PL値）
- 極めて高い（30<PL）
- かなり高い（15<PL≦30）
- 高い（5<PL≦15）
- 低い（0<PL≦5）
- かなり低い（PL＝0）